

シイタケ栽培についての取り組み

今年度も、3年生が川合農場でシイタケ原木のクヌギの伐採を行いました。伐採する際の受け口と追い口を作る練習を10月～11月にかけて行い、12月～1月にかけて実際に伐採を行いました。直径15cmまでの部分はシイタケ原木として用い、それ以上の太さの部分は、薪やスウェーデントーチの材料として用いています。



川合農場でのクヌギ伐採 (R7/12月)



伐採されたクヌギ (R7/12月)



シイタケドリルで穴を開け、そこに成形駒菌を打っていきます。



3年生が伐採したクヌギのうち、シイタケ原木に適した15cm以下の部分を1・2年生が90cmに玉切りし、2月3日に1年生が菌打ち実習を行いました。原木の栽培から収穫・調整、シイタケ栽培までの全工程を森林科学科の生徒が全て関わって行うのが、本校のシイタケ栽培の一番の特徴です。今年度は260本を植菌しました。今年の11月には最初のシイタケが収穫できる予定です。